

東京都高等学校総合体育大会チアリーディング大会感染症拡大防止ガイドライン【第3版】

1. はじめに

本ガイドラインは、日本スポーツ協会が作成した「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」や東京都教育委員会が策定した「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン(都立学校)、学校の『新しい日常』の定着に向けて」および「東京都高等学校体育連盟新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」に基づき、本専門部における大会開催の指針として作成しました。**現在、感染力が強い変異株への置き換わりが急速に進み、生徒等への感染が懸念される状況があり、感染防止対策を強化する方向で、一部改訂いたしました。**

なお、本ガイドラインは現段階で得られている知見等に基づき作成しており、今後見直すこともあり得ますので、御留意ください。また、社会情勢が大きく変化し、通常の世界生活に戻るなどした場合の対応は、このガイドラインの限りではありません。

2. 都高体連主催事業再開に当たっての基本的考え方(高体連ガイドラインより)

東京都のイベント開催や教育活動の方針「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン」等に基づいて、部活動が学校教育の一環であることを踏まえ、以下の条件等が整い感染防止策を徹底することを開催の条件とします。

- ①学校教育活動が継続され、大会参加に向けた部活動の練習が再開されている
- ②専門部の事業は感染防止を徹底して実施する(部活動が中止された場合は中止または延期する)
- ③大会は当面の間無観客の開催とする
- ④**出場に際しては学校長の責任の下**、参加生徒及び保護者の内諾を得ることを要件とする

3. 大会開催時の感染防止策について

1) 全般的な事項

- ①感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所(大会の受付場所等)に掲示する
- ②各事項が遵守徹底されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- ③大会に参加する全ての者(選手・顧問・役員等会場内に入る者:以下参加者と表記)はマスクを着用するが、熱中症のリスクを考慮し状況に応じてはマスクをはずす
- ④万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日の全参加者を把握するとともに、記録し、保存期間(1ヶ月以上)を定めて保存しておく
- ⑤大会後の参加者の新型コロナウイルス感染に備え、当日の参加者へ直ちに連絡できる体制を整えておく
- ⑥生徒の補助役員については、感染防止の観点から可能な限り縮小し、やむをえず実施する場合は、生徒本人および保護者の同意書を得るとともに、所属校の校長から承諾を得る

2) 大会参加校が遵守する事項

- ①参加校は、当該学校等の参加者における「**感染防止対策責任者**」を設置する。「**感染防止対策責任者**」は、引率責任者や顧問が兼任しても構わない。
- ②「**感染防止対策責任者**」は大会当日、会場に来ること。「**感染防止対策責任者**」は、大会への不参加が決定された場合、専門部事務局へ電話で報告する。
- ③「**感染防止対策責任者**」は、大会期間中及び大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する。大会後にチーム内で陽性者が発生した場合、以下の連絡系統で報告する。

- ④「感染防止対策責任者」は、日常の活動において健康チェック・検温を選手やスタッフが行うことを管理し、陽性者や濃厚接触者が発生した際の学校や保健所等への情報連携を行う担当となることが求められる。感染してから対応を考えるだけでなく、いかにして陽性者を出さないようにするか対応を行うことに留意して頂きたい。
- ⑤参加者が以下の事項に該当する場合は、参加校の責任において、速やかに医療機関等への相談・受診を行い、かつ検査を受けた上で当該生徒の大会参加の可否を判断する。
- ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 濃厚接触者である場合
 - エ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ⑥「大会参加同意書」（別紙1）のチェック項目の欄を満たしていることを条件に参加し、当日に本専門部に提出する
- ⑦全員分の「健康チェックシート個人大会参加同意書」（別紙2）に記入し、当日に本専門部に提出する
- ※未提出の場合は出場を認めない（各書式は本専門部HPよりダウンロードする）
 ※この同意書は大会終了後、引率責任者に返却する（所属校にて1ヶ月以上保管しておく）
- ⑧マスクは参加者が持参し常時着用する。**不織布マスクを着用して感染防止対策に努める。**（演技中の選手を除く）
- ⑨消毒用アルコールは参加校および各自が用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や使用用具の消毒を実施すること
- ⑩手拭き用のタオル等は各自持参させる
- ⑪他の参加者や役員等との距離（できるだけ2m以上）を確保する
- ⑫競技前後のミーティング等においても、3つの密を避ける
- ⑬会場への移動等は参加校が責任をもって集団感染のリスク（3密の条件）を避ける
- ⑭大会中に大きな声で会話や応援等をしない
- ⑮使用後は全てのゴミとともにビニールに入れて持ち帰る
- ⑯当面の間、無観客で開催するため当日の入場に制限があることを保護者等に周知・徹底する
- ※ただし、今後の状況が変われば制限付き有観客での実施を検討するため、チアリーディング専門部のホームページを随時確認し最新の情報を得ること
- ⑰大会に参加する上で東京都高体連チアリーディング専門部が示す注意事項を順守する

3) チームの参加判断基準について

- ①チーム（出場校）とは、出場登録選手、監督、コーチおよび引率者だけでなく、活動や移動行程等を同一とする出場登録選手以外の部員、マネージャーおよびチーム関係者（トレーナー等）も含む。
- ②大会参加日の2週間前以内の期間に、チーム内で新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者と特定され、大会当日に登校を許可されていない者の参加は認めない。
- ③大会参加日の2週間前以内の期間に、チームに感染者が発生した場合、学校長はチームの出場辞退を検討および判断する。
- ④大会参加日の2週間前以内の期間に、チーム内に濃厚接触者または体調不良者が出た場合、学校長はチームの出場の可否を検討および判断する。
- ⑤感染疑いの者および濃厚接触の疑いのある者がチームに発生し、当該者がPCR等検査を受ける場合、当該学校の大会出場可否は以下のとおりとする。
- ア PCR等検査を受ける当該者の判定が大会当日までに間に合う場合、上記③・④に従って学校長はチームの出場の可否を検討および判断する。
 - イ PCR等検査を受ける当該者の判定が大会当日までに間に合わなかった場合、当該者以外のチーム関係者で、大会会場に来場する者がPCR等検査を実施し、陰性証明ができた者は大会に出場することができる。ただし、学校長が参加を認めた場合に限る。
 - ウ 判定が間に合わなかった当該者は出場することはできない
- ※PCR等検査費用はチーム負担とする。

4) 大会会場で準備すべき事項

【会場運営について】

- ①会場出入り口や受付場所等
 - ア アルコール等の手指消毒剤を用意する
 - イ 受付時の会話は最小限とし、必ずマスクを着用する
- ② 更衣室・ウォーミングアップスペース
 - ア アルコール消毒液を準備する
 - イ 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける
 - ウ 高体連役員はドアノブなど参加者が手を触れる場所を定期的に巡回しアルコール消毒を行う
 - エ 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する
- ③トイレ・洗面所
 - ア トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、高体連役員が消毒する
 - イ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
 - ウ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを用意させる
 - エ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
- ④ 飲食
 - ア 飲食物を手にする前に、手洗い、うがい、手指消毒を行うよう声をかける
 - イ 役員・選手とも、飲食場所は広さにはゆとりを持たせ、他の者と密になることを避ける
 - ウ 大会中の飲食は必要最小限にとどめ、指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにする
 - エ 選手の飲食は、参加校の責任において飲食させるとともに、ごみはすべて持ち帰らせる。
- ⑤ 会場
 - ア 可能な限り使用場所で十分な換気を行う
 - イ 換気設備を適切に運転する
 - ウ 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う
- ⑥ ゴミの廃棄
 - ア ゴミは持ち帰りを原則とするが、鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛ること
 - イ ごみ処理をした後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒をする

【選手および参加校への当日確認事項】

- ①会場への到着および入場は、原則として事前に指定された時間とする
 - ②入場は大会役員の指示により、検温後、許可を受けてから入場する
 - ③会場入場前後には必ず手指の消毒を行う
 - ④集合から解散までの間、指定された場所にいること
 - ⑤大会演技終了後、更衣等が終わったら即解散すること
 - ⑥会場内で長時間大人数になることを避けるために、ウォーミングアップエリアはあらかじめ時間を指定する
 - ⑦大きな声での会話や応援をしない
 - ⑧ゴミは必ず持ち帰ること
- ※特に鼻水、唾液などが付いたごみや使用したマスクは、ビニール袋に入れて密閉して縛り持ち帰ること
- ⑨感染予防の観点から、更衣や準備運動等においては、周囲の人となるべく距離を空ける
 - ⑩参加者は各個人で飲み物を用意し、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにする

【参加者の中に陽性反応者が出た場合について】

- ①大会前
 - ア 感染者または濃厚接触者と特定され、大会当日に登校を許可されていない者の参加は認めない
 - イ 参加申し込み後の選手変更を認める

② 大会当日

- ア 参加者は、必ず当日の朝自宅で検温を行い、平熱であることを確認し会場に入る
- イ 引率責任者または「**感染防止対策責任者**」が責任をもって参加者全員の体調を確認する
- ウ 大会中に発熱等の症状を訴える者を確認した場合は、保護者に連絡し直ちに帰宅させる

③ 大会後

- ア 感染者の所属する学校や行政機関の指示に従う
- イ 当該校顧問は速やかに専門部事務局に報告する
- ウ 専門部は、感染者が参加した大会当日に会場内にいたすべての学校と役員等に連絡する
- エ 危機管理マニュアルに従って速やかに事故報告書を作成し、高体連事務局に報告する

【感染者が発生した場合における専門部の緊急対応】

- ①感染者の所属する学校や行政機関の指示に従う
- ②会場内にいた全ての学校と役員に連絡をする
- ③危機管理マニュアルに従って速やかに事故報告書を作成し、高体連事務局に報告する

